

Dサウンドシャキット 使い始めの推奨調節方法について

小型サウンドコントローラおすすめ状態

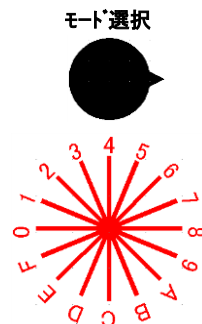


メインアンプのおすすめ状態

小型サウンドコントローラが接続されると、コントローラ側に制御が移る操作



音量 低音臨場感 高音臨場感 左右バランス (タイムアライメント) 音楽/アナウンス サラウンド ロードノイズ 感度 モード 選択 モード 制御



小型サウンドコントローラ	下左ツマミ	音量	小音量(左)で強力な臨場感
	下右ツマミ	ロードノイズの検出感度 (走行時効果が大きすぎる場合は左へ)	走行騒音に応じた最適音質音量
	上左ツマミ	臨場感 (メインアンプで設定された低音と高音の比率で低音高音同時)	音源に近づいた音質
	上中ツマミ	音楽/アナウンスの音質選択 12時:自動, 左へ手動音楽, 右へ手動アナウンス タイムアライメントの調節は メインアンプのモード選択:9時, モードスイッチを右に倒して、5秒後から調節し、モードスイッチを左に戻した後、モード選択も元に戻す	音楽だけ聴く場合は左いっぱい
	上右ツマミ	サラウンド (AMラジオの音楽でもサラウンドで左右に音場を広げる)	
	モード制御	通常左側, 右側ではすべての効果がオフ	
メインアンプ	背面AUX感度	12時 (音割れがする場合は左へ、感度不足の場合は右へ)	
	左2番目	低音臨場感成分比率: 通常右いっぱい	
	左3番目	高音臨場感成分比率: 通常12時 → 高音が強い場合は左へ	
	左4番目	左右の音の方向を調整 (AMラジオのアナウンスを再生)	前方に聴こえるよう
	モード選択	各種音質選択: 右表参照 1. タイムアライメント調節時はスナップスイッチを右に倒し、5秒後から音楽/アナウンス ツマミがタイムアライメント調節となる。AMラジオのアナウンスで音の方向を調節調節後、スナップスイッチを左に戻し、モード選択を元の位置に戻す。 2. ウーファーの位相を反転する場合は モード選択を9時から左へ一つ回し、5秒経過後元の位置に戻す。 3. ウーファーの位相を正相とする場合は モード選択を9時から右へ一つ回し、5秒経過後元の位置に戻す。 4. 純正音質改善の場合: 右図参照 5. セカンドオーディオの場合: 右図参照	

仕様
電源: 12V (10V~16V)
消費電流: 暗電流 0.003A/3ch
無信号時 0.23A/3ch
最大出力時平均 3A/3ch
入力信号: AUX 700mVrms/12時
BT 300mVrms
USB充電出力: 5V, 0.1Amax
その他詳細: j-soundscience.com

16ポジションのモード選択スイッチの割り当て		
ポジション	用途	
8	セカンドオーディオ標準	
0	タイムアライメント調節モード	
9	純正音質改善 (セダン用)	
A	純正音質改善 (ハーフボックス用)	
B	純正音質改善 (ワンボックス用)	
1	5秒後に ウーファー の位相を	出荷状態に記憶
F		反転記憶
その他	ユーザー要望拡張用	

ご注意 ◆ 緑のランプの音量に同期した点滅は、過大入力のサインです。点滅しなくなるまでヘッドユニットまたはナビ側の音量を絞ってください。
◆ ロードノイズの検出感度は車に合った、最適の状態に調節します。効きすぎるとロードノイズよりも強力な低音の大音量が発生します。
使い始めは控え目(左)から初めて、徐々にアップ(右へ)する方法で、最適状態に合わせ込みます。ツマミの操作は、慣れない間は停止中に行ってください。
◆ アナウンスとミュージックの自動音質調整は100%完全ではありません。音楽だけのときは左いっぱい、ニュースだけのときは右いっぱい、ラジオ放送では中央でお使いください。